



並木 利彦
949-6103
新潟県南魚沼郡湯沢町大字土樽232
070-2155-3047
toshi@snow.co.jp
http://donco.jp
http://facebook.com/toshi.donco

見てもらえない!

指をくわえて

時間の問題では
済ませられない!



安料高不足
材人手

■新潟の消滅可能性自治体

柏崎市	51. 3
新発田市	50. 5
加茂市	60. 9
十日町市	53. 4
村上市	61. 1
妙高市	59. 7
五泉市	55. 3
佐渡市	59. 3
魚沼市	60. 3
胎内市	54. 0
田上町	66. 2
阿賀町	66. 9
出雲崎町	67. 1
湯沢町	73. 5
津南町	60. 3
刈羽村	51. 6
関川村	60. 9
粟島浦村	83. 2

※毎日新聞抜粋

もつ湯沢
待ったなし!



■若手が起業をしやすい町づくり。町の方で若手の起業に関しての土地、家賃等の優遇措置。

■若手の起業の職種について色メガネで見ない。なにが当たるのかは誰もわからない。今、職種で10個あつて3、4個しか儲けがでない。

■企業誘致、湯沢にきてもらうためにはPRを重めます。他と同じ条件であれば湯沢には振り向きません。

■Uーターン、Uーターンの確率が高い町づくり。学生が帰つてこない理由には、湯沢の魅力を小学生、中学生時に教えていない。湯沢の良いところを体験させていない。湯沢のいいところは、住んでるひとにはわかりづらい。マンションの人には聞くと驚かされる。こんなところがよその人から見ると新鮮なんだなど。



とにかく人口を増やすことが最優先

※御先輩方がやってくられたと思いますが



観光立町としての町作り

※あえて民宿目線

■観光も町の方である程度、方向性をつくる。方向性がでないため、特に民宿などは施設や設備をどのようにつくつていいかわからない。施設や設備をつくるには大きなお金がかかり、なるべく無駄な投資はさせたくない。

■町の観光政策は民宿経営とは完全にマッチしているとは思わない。湯沢民宿組合があります。これを、本当の湯沢の民宿組合にしなければならぬと思います。3つのエリアが一緒になつてホテルにない湯沢の民宿の良さをPRしていかねばならないと思います。

■町施設の充実。町の方向性が出来上がれば町施設もそれにあつた施設をつくり個人で施設がなくても、大会、発表会等で集客できるようにしたい。町の運動施設も、お金がなければ、修繕維持の簡単な作業は宿のおやじを使い、節約する方法もあると思います。夏使わせて貰えるのであれば協力できると思う。月々のメインを設定し整備できる所は垣根を越えて整理していけばまだまだ伸びしろはあると思う。冬場はスキー、スノボ。4月は桜、5月は山菜6月はホタル7月はフジロック。8月は長岡花火。合宿。9月はコシヒカリ。コスモスマラソン。10月は紅葉、ドラゴンドラ。